

S-2S meeting

Graduate School of Science, Kyoto University

Toshiyuki Gogami

2020/12/09



京都大学

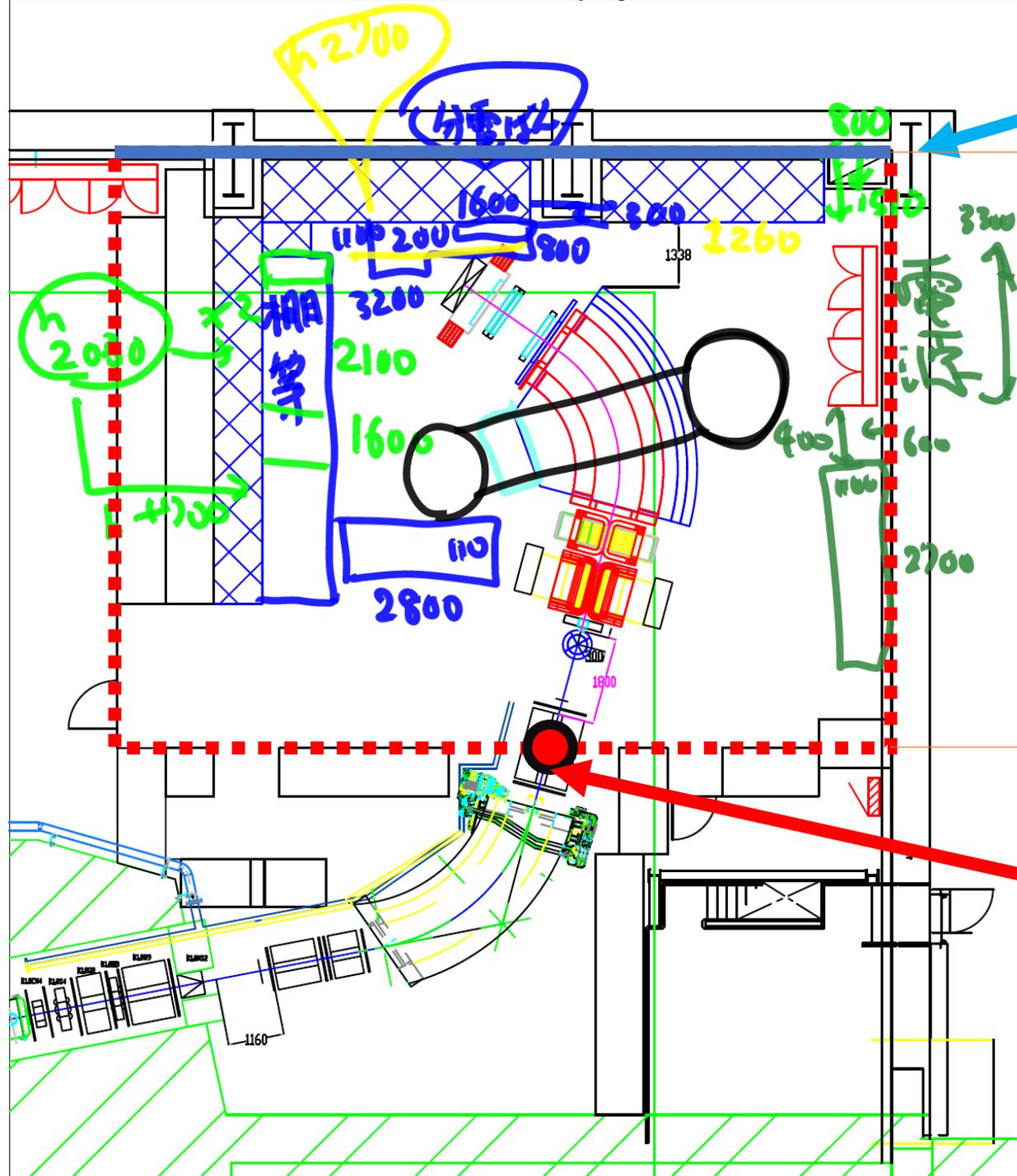
KYOTO UNIVERSITY

S-2S 以外は下流から配置

12.4 m →

つまり、部屋の大きさ（既存図面から読みました）を間違っていると今回示す図面は違っている → 私の読み値は合っていますか？

S-2S はここを基準に置いた

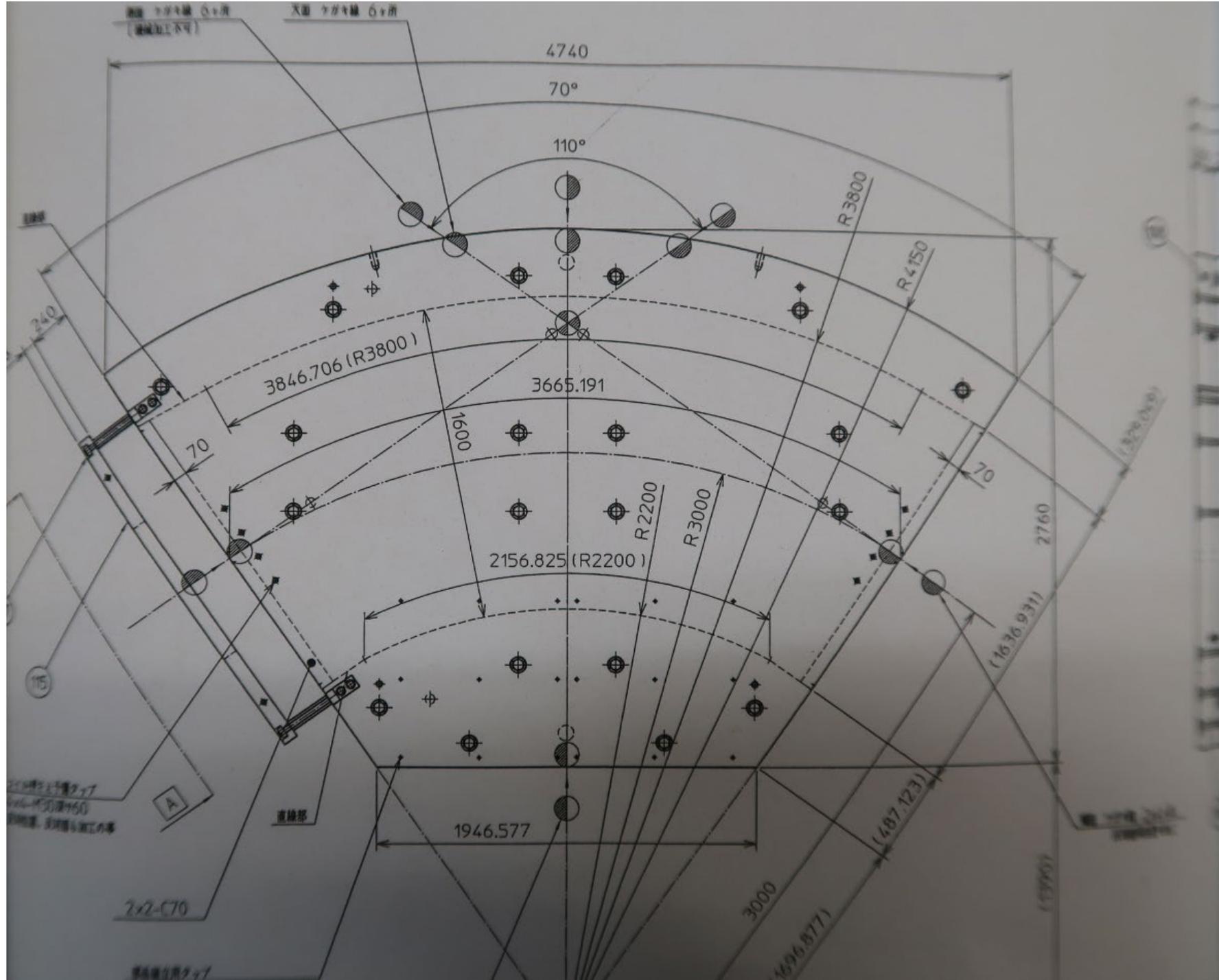


S-2S in Hall

1. T-Q_face = 450 mm
2. 高さはクリア
3. 後ろもクリア
4. Q1両側、Q2内側に 400 mm 必要 (水配管用) (Dの水配管用空間は簡易的に図面内に示した)
5. ラックは D 外側に配置 (EASIRIC用もD外側)。また、標的周りにもラックを配置できる。
6. 配電盤は右奥へ移す仮定
7. 高さ 2.9 m 長さ、4.5 m の橋
8. 螺旋階段; これ (<https://www.imdoor.com/stairs/stz.html>) だと一つ 50 万円

けがき

Yoke 端面だけでなく、
上面にもあり



To do

- S-2S の配置と実験ホールに必要な変更等
 - ➔ 以上の基本的なアイデアで仁さんにご相談
- ドリフトチェンバーのフレーム設計
 - ➔ Q1 の穴加工 @KEK
(橋を架けると決めると D への穴加工も必要)

Backup

先週の議論の議事録

突然ですが、今からの meeting link です

Toshiyuki Gogami Sat, Dec 5, 2020 at 12:22 AM

To: Toshiyuki Gogami , Toshiyuki TAKAHASHI , Mifuyu Ukai , 永江 知文 , 原田健志 , Takeshi Yamamoto , Takuya Nanamura

Cc: e70core@scphys.kyoto-u.ac.jp

皆さま、 本日の議論のメモです

S- 2 S Meeting @J-PARC

日時：12/4, 19:30 – 20:30

参加者：高橋敏、鷓養、山本、七村、後神

* Dの上に橋を架ける

- スウィープの時間を長くする
- 橋ではなくプラットフォームを作るのはどうか
- ラックの一部をプラットフォームに置けば、床面の使用できる面積を大きくできる
- 概算でいくらか？ --> 経験のある青木さんに問い合わせる
- 上に置くべきもの、下でいいものは？ (ex. Discr は下でいいのでは)
- 螺旋階段 --> 見積 (後神)

* モジュールのクレーン - Dの右側下流へ

- それに伴って EASIROC も後ろへ (ケーブル ≥ 20 mあるし)
- 中性子のバックグラウンドには要注意 --> Simulation できるか？
- ゲルマ関係 + 藤岡実験関係のモジュールラック --> 例えば、標的周辺 (藤岡実験にラック何台分必要かは要確認)

* 分電盤 右角へ移設

- コンセントも一緒に動かす
- ラックへの距離も大丈夫

* 下流検出器の配置時の懸念

- ケガキはどこにある？ --> 要確認 (Optical center にどうやって合わせる)